

税金で救うことができた命

三条市立第一中学校 三年 規矩智 哲也
きくち てつや

ある日の休日に突然お母さんが、「おじいちゃんが、職場で急に倒れたって。緊急性が高いから、ドクターヘリでこれから搬送するって」と、慌てて電話してきました。おじいちゃんは、仕事中に心臓発作が起こったのです。数分後、お母さんから電話で「おじいちゃんは、長岡日赤病院に運ばれて、手当てしてもらっている。ドクターヘリで迅速に的確な治療をすることができたから、命に別状はないし、後遺症も残らない」と、知らされました。私は、ほっとすると同時に、ドクターヘリの凄さとありがたさを実感しました。数週間後、おじいちゃんはあれから急速に回復し、すぐに退院することができました。おじいちゃんも、「ドクターヘリは本当にすごい。本当にありがたいものだ」と、元気に話していました。

おじいちゃんの話聞いて、ドクターヘリの運用にはどのくらいの費用がかかるのだろう。その費用は、誰がどのようにして負担しているのか気になりました。そこで私は、ドクターヘリについて調べてみることにしました。すると、救急車と同じように税金が使われていて、患者が負担する費用はない。ということが分かりました。

ドクターヘリは、時速約二百五十キロメートルというスピード

で飛んでいます。また、高度な医療器具も機内に設置されていて、緊急手術に備えるための処置が施せるようになっていきます。そのため、一回の往復の搬送に、およそ五十万円から百万円の税金がかかるそうです。新潟県では、年間、全国最多の千八百件から千九百件出動しています。そうすると、年間、数億円から数十億円の税金が使われていることになりました。

私たちが住んでいるところから、大きな病院までは、少なくとも片道三十五キロメートル以上あります。ドクターヘリは、それを数分で飛んでいき、少しでも早く処置ができるようにしています。これほど、重症の患者さんにとって必要不可欠でありがたいものはありません。もしも、税金を納めなかったら、ドクターヘリが運用できなくなってしまう、救えたはずの命も救えなくなってしまういます。

もちろん、私たちが納めている税金は、ドクターヘリだけではなく、医療や消防、警察など、命や安全に関わるサービスだけでなく、教育や福祉、公共、年金など様々なことに使われています。税金によって私たちの生活は守られているということを忘れてはいけません。

私は、ドクターヘリと税金のつながりを調べたことで、税金を納めることの大切さをこれほど痛感したことはありませんでした。

最後に、私の納める税金が、医療やドクターヘリの運用などの命に関わることに少しでも役立てられ、一人でも多くの命が救われてほしいと思います。そして、世界が一秒でも早く平和になることを願います。